

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-013

PDCA	事務事業名	地域生活支援事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 障がい者援護担当	担当	寺嶋幸子	
					内線等	351	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 3. 障がい児・障がい者福祉 単位施策： (2) 地域で安心して暮らせる支援体制の充実 個別施策： ③相談支援体制の整備					
	根拠法令等	半田市障がい者地域生活支援事業実施要綱、半田市障がい者相談支援事業実施要綱					
	対象・目的	障がい者及び障がい児の地域での生活を支援し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市社会福祉協議会に「半田市障がい者相談支援センター」の開設を委託し、高い専門性と公平性を担保に多様化するニーズに応えられるよう福祉サービスの利用調整などを行う。また、市内の福祉事業所の基幹的な役割として、個々のニーズから地域の課題へと結びつくよう、自立支援協議会を活用し、行政との共同事務局で協議会を運営する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①福祉サービス利用者（移動支援、日中一時支援、訪問入浴、体験の宿泊）	258	259	226	人/月	
		②障がい者自立支援協議会開催回数	30	24	20	回	
		事業費	143,774	142,063	135,167	千円	
		人件費	15,825	15,423	17,737	千円	
		総事業費	159,599	157,486	152,904	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①相談件数一人当たりの事業コスト	—	—	—	千円	
	②手帳所持者一人当たりの事業コスト	29	28	27	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①半田市障がい者相談支援センターへの年間延べ相談件数	実績値	9,534	9,016	7,316	件
			目標値	8,000	7,000	9,000	
		②	実績値				
			目標値				
③		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
	②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある			
		C	障がい者自立支援協議会において、ヘルパーの人材不足により居宅介護・移動支援のニーズに対応しきれていない現状について意見交換した。障がいがある方の居場所として、市内に初の地域活動支援センターを設置したが、利用実績が伸び悩んでいる。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、障がい者相談支援センターの相談件数や福祉サービスの利用量が減少することになったが、国県からの指示のもと、福祉サービス利用者に対して必要なサービスが提供されるように努めた。				
		改善推進					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	障がい者自立支援協議会に諮りながら策定した第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づき、現行の福祉サービスの対象・給付内容などの継続的な見直しを行い、事業の充実を図る。ヘルパー人材不足について、障がい者自立支援協議会で出た意見や他市の状況を参考にして支援方法を検討していく。また、地域活動支援センターの利用促進や、障がいがある方に対する福祉サービスの情報発信と、地域住民に対する障がい理解啓発活動を積極的に行っていく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①半田市地域活動支援センター実利用人数	6	人/月			